六地蔵(六道牌)について

○地蔵菩薩の名前の由来や仏様になった理由

地蔵菩薩についてお経にはこのように書かれています

「安忍不動なること大地の如く、静慮深秘なること秘蔵の如し」

感情が穏やかさは大地のようであり、様々な智慧は蔵のように大きいのですよという意味で、赤文字の地と蔵を取って地蔵菩薩となりました

そしてお地蔵様が仏様になる為に誓った願い(本願)、つまり自分で決めたルールは、

『お釈迦様が亡くなった後の世界で弥勒菩薩様が現れるまで六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天)の中で苦しんでいる皆を救います』

というものでした。そのことから地蔵菩薩は様々に姿を変えて六道の人々を救っているのです



○六道牌について

では皆さんがお葬式の時にお墓に立てる六道牌にはどのような意味があるのでしょうか。六道牌に書くお経は

「**興大悲**(こうだいひ)・**愍衆生**(みんしゅじょう)・**演慈弁**(えんじべん)

授法眼(じゅほうげん)・**杜三趣**(とさんじゅ)・**開善門**(かいぜんもん)」

と書き、意味はこのようになっています

「大悲(人々の苦を救う為の大きな慈悲の心)をおこし、衆生(全ての人々)を救い、慈悲のこもった弁舌(伝え方)で教えを説き、法を知り、理解するための智慧の眼を授け、地獄・餓鬼・畜生の三つの悪道に落ちることを防ぎ、善門(良い行いをする為の心)を開く」

この様な風習は、浄土宗の大切な経典の一つである『**無量寿経**』という経典の最初の方に書かれていて、亡くなった方が極楽に行けずに迷っていたとしても地蔵菩薩に救われ極楽に行くことができるように、一人も地獄に落ちないようにと今も続けられているのです

六地蔵(六道牌)について

○六地蔵の救う世界と名前と持ち物

『仏説地蔵菩薩発心因縁十王経』より

1, **天道**-預天賀地蔵(日光地蔵など)

左持如意珠　右手説法印　利諸天人衆

(左に如意珠を持ち、右は説法印、天人を救う)

2. **人道**-放光王地蔵(除蓋障地蔵(じょがいしょうじぞう)など)

左手持錫杖　右手與願印　雨雨成五穀

(左手に錫杖を持ち、右手は与癌印、雨を降らせて五穀を成らせ人界を救う)

3. **修羅道**-金剛幢地蔵(持地地蔵(じじじぞう)など)

左持金剛幢　右手施無畏　化修羅靡幡

(左手に金剛幢-はた-を持ち、右手は施無畏、修羅を救う)

4. **畜生道**-金剛悲地蔵(宝印地蔵(ほういんじぞう)など)

左手持錫杖　右手引攝印　利傍生諸界

(左手は錫杖、右手は引摂印、傍生-畜生-を救う)

5. **餓鬼道**-金剛寶地蔵(宝珠地蔵(ほうじゅうじぞう)など)

左手持寶珠　右手甘露印　施餓鬼飽満

(左手に宝珠を持ち、右手は甘露印、餓鬼を満腹にする)

6. **地獄**-金剛願地蔵(檀陀地蔵(だんだじぞう)など)

左持閻魔幢　右手成辨印　入地獄救生

(左に閻魔幢-はた-を持ち、右手は成弁印、地獄にいる者を救う